

世界を舞台に“グレートカンパニー化”に向けた学びと実践の場を創る

船井総研の海外視察セミナーとは？

2011年からスタートし、9年連続開催している海外視察セミナーです。船井流の現場主義の精神に基づき、学びの場を海外にも広げ、経営のモデル・ヒントとなる企業を実際に見に行くことで、自社の3年～10年後の姿を思い描く機会を提供するセミナーでもあります。

お客様の中には、世界の最先端企業情報を自社の経営のヒントにしようと、毎年参加をしてくださっている方もいらっしゃいます。アメリカ・ヨーロッパ・アジアから「今、訪れるべき先進企業」を船井総研がご紹介する海外視察セミナーです。

特にアジア視察では、今後の海外進出本格化時代に向けた準備としての、アジアマーケットの勢いと動向を掴んでいただけるような視察をご用意しています。

GPTW（働きがいのある会社ランキング）や世界のイノベティブな企業ランキングにランクインする企業を中心に、業績を上げ続けている、革新的なビジネスモデルである、従業員と顧客に圧倒的に支持されている、従業員とその家族が誇りを感じ働き甲斐を感じている、地域にとっては必要不可欠な永続企業…そんな企業を世界中からご紹介しています。

海外視察セミナー 特設ページはこちら



のべ参加者
1,000人
以上

※数値は、2019年1月（株）船井総合研究所調べ

主な視察講演先

2018年1月：上海・杭州

アリババ/モバイク/テンセント/滴滴出行他

2018年4月：フランクフルト、ハノーバー、ベルリン他

SAP/シーメンス/ハノーバーメッセ/ベルリン発スタートアップ他

2018年7月：香港、深圳

ペニンシュラホテル/テンセント/ファーウェイ/BYD/DJI他

2018年10月：ポートランド、サンフランシスコベイエリア、ラスベガス

ナイキ/セールスフォース/グーグル/シルクドソレイユ/ザップス他

2019年5月：深圳、マカオ（予定）

テンセント/アリババ/中国平安保険/DJI/サンズ・マカオ他



船井総研の海外視察セミナー 企画運営部門 責任者からのコメント

2018年は4度の海外視察セミナーを実施しました。1月には、中国の上海・杭州において、市民生活の隅々まで浸透したデジタル文化を体感するとともに中国イノベーションを牽引するIT企業を中心に「ビッグデータの収集と活用」のポイントを学びました。4月には、時間当たり生産性が世界一のドイツにおいて、「生産性向上」のポイントを学ぶとともに次世代産業革命「インダストリー4.0」としてドイツの目指す産業構造シフトを目のあたりにしました。7月に、人類史上最速で進化する都市とも称される中国の深圳において、新産業領域における深圳発の世界一企業を中心に視察を行い、「イノベーションを生み出すエコシステム」のポイントを学びま

した。10月には、米国西海岸において、世界に変革をもたらし続けるグレートカンパニーを視察し、顧客・従業員すべての関与者から愛されながら進化を続ける「組織づくり」のポイントを学びました。

そして、2019年5月には再度中国深圳への視察を予定しています。世界経済勢力図の変わり目において、「深圳速度」とも呼ばれるビジネス変化のスピードを体感し、変わりゆく未来を見据える機会にできればと考えております。



ライン統括本部 星野 佑介